

令和4年 北海道内における住宅用火災警報器の奏功事例

※ 朝（6：00から9：59時まで）、昼（10：00から13：59まで）
 夕方（14：00から17：59まで）、夜（18：00から21：59まで）、
 深夜（22：00から1：59まで）、早朝（2：00時から5：59まで）

件数	月	発生時間	時間区分	建物種類	感知したタイプ	出火場所	設置場所 (鳴動場所)	出火原因	覚知者	原因概要	発見・通報・状況等
1	1	2:14	早朝	アパート・マンション等	煙式	居間	就寢室	ストーブ	居住者	密閉式石油ストーブの故障による不完全燃焼	居住者が就寝中、住宅用火災警報器の鳴動により目を覚ましたところ、部屋全体が白い煙で覆われていた。暖房設備（密閉式石油ストーブ）のファンが動いておらず違和感を感じたため、念のためコンセントを抜きストーブを停止させた。その後119番通報した。
2	1	10:05	昼	アパート・マンション等	煙式	就寢室	就寢室	電気	居住者	テーブルタップからの出火	卓上に置いてあったコンセントタップより出火した。隣室にいた家人が住宅用火災警報器が鳴動していることに気づき、当該コンセントタップに濡れ布巾4枚を被せ初期消火した。
3	1	11:34	昼	アパート・マンション等	煙式	台所	台所	こんろ	隣人	鍋の空焚き（非火災）	居住者は、台所で片手鍋に入れたコーヒーを温めるため、カセットコンロにて加熱したまま外出した。隣の住戸の住氏が建物の窓から煙及び住宅用火災報知機の警報音に気づき消防へ通報した。消防隊到着し、建物外部、内部確認するも損害はなかった。
4	1	7:05	朝	アパート・マンション等	熱式	台所	台所	こんろ	その他	ガステーブルの消し忘れ	居住者（78歳男性）の息子（37歳男性）が、1階台所のガステーブルグリル内で餅を焼き、調理をしていたのを忘れ、寝室でパソコンを使用していたところ、餅が発火、焦げた臭気気づき、台所に至ったところ、ガステーブルグリル内の炎を確認した。炎の確認後に、台所に設置されていた住宅用火災警報器（熱式）が作動した。屋外へ避難し119番通報した。建物への延焼はなし。
5	1	10:00	昼	戸建住宅	煙式	洗面所	その他（不明を含む。）	電気	居住者	テーブルタップのコードから出火	居住者（67歳男性）が居間にいたところ、住宅用火災警報器の警報音に気づき、洗面所のドアを開けたところ、ドアの床付近のコードから火が出ているのを見つけた。水道水で消火後に消防へ119番通報した。
6	1	9:00	朝	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	ガステーブルの加熱放置	居住者（73歳女性）がガステーブルのグリル部を予熱していたことを失念し、グリル内の油が発火しガステーブルを焼損した。台所に設置していた住宅用火災警報器の鳴動で居住者が発見し、通報した後に消防隊が雪をかけて消火した。
7	1	18:42	夜	戸建住宅	煙式	台所	階段	その他	居住者	電子レンジによる過熱（非火災）	居住者は、電子レンジで離乳食を温め、10分ほどソファで休んでいたところ、住宅用火災警報器の警報音に気づき、電子レンジから煙が出ているのを見出し、消防へ通報した。建物及び電子レンジに損害はない。
8	1	不明	深夜	アパート・マンション等	煙式	壁内	就寢室	その他	居住者	1階の厨房付近から出火。原因等は不明。	1階居酒屋（3項口）、2階共同住宅（5項口）の複合用途防火対象物の1階の厨房付近の壁内から火災が発生した。2階の居住者が住宅用火災警報器の鳴動で火災を発見し、119番通報した。避難時に1階の客（30代男性）1名と、2階の居住者（60代男性、50代女性）2名、合計3名が負傷した。初期消火は実施されおらず、消防隊の消火活動により消火された。
9	2	1:20	深夜	戸建住宅	煙式	玄関	その他（不明を含む。）	ストーブ	居住者	ポータブル石油ストーブ上の可燃物	家主は一人暮らしの62歳男性で、目が不自由であり、玄関フード内のポータブル石油ストーブ上に可燃物が置いてあることに気づかず点火したため出火。 玄関ドアが開いており、煙が室内に流入したことにより住宅用火災警報器が鳴動。鳴動音と匂いにより火災を認知し、洗い桶に溜めた水で初期消火し鎮火する。 鎮火後、不安になった家主より119番通報を受けたため、本件は事後周知火災であるもの

令和4年 北海道内における住宅用火災警報器の奏功事例

※ 朝（6：00から9：59時まで）、昼（10：00から13：59まで）
 夕方（14：00から17：59まで）、夜（18：00から21：59まで）、
 深夜（22：00から1：59まで）、早朝（2：00時から5：59まで）

件数	月	発生時間	時間区分	建物種類	感知したタイプ	出火場所	設置場所 (鳴動場所)	出火原因	覚知者	原因概要	発見・通報・状況等
10	2	3:17	早朝	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	鍋の空焚き	居住者がガスコンロで鍋を温めているのを忘れ、居間でテレビを見ていたところ、台所で住宅用火災警報器が作動。確認に行くと煙が充満しており、火災だと思い居間の固定電話にて消防へ通報した。なお、発煙したのみで火災には至らなかった。
11	2	16:14	夕方	戸建住宅	煙式	台所	台所	その他	居住者	電子レンジによる過熱 (非火災)	ポップコーンを電子レンジで加熱中に煙が発生し、台所にある警報器が作動した。住警器鳴動を警備会社が受信し、警備会社職員が119通報。居住者は住警器の鳴動音で煙に気づき、電子レンジの作動を停止、建物内を換気したため火災には至らなかった。
12	1	不明	早朝	戸建住宅	煙式	壁内	階段	ストーブ	居住者	薪ストーブ煙突の輻射熱により壁軸組が発火した。もの。	居住者（70歳男性）が就寝中、非常灯の点灯及び住警器が鳴っていることに気付き、起きて玄関を確認したところ、壁内に亀裂が入り火が走っているのを発見し、妻に通報を依頼した。その後、自宅の消火器で消火を試みるも消火できず家の外に避難した。
13	3	23:05	深夜	アパート・マンション等	煙式	就寝室	就寝室	調査中	隣人	調査中	下宿の住人が別の部屋で住警器が鳴動していることに気づき、駆け付けたところ煙が出ていたため消防へ通報した。もの。
14	3	18:35	夜	アパート・マンション等	煙式	台所	その他（不明を含む。）	電気	居住者	電子レンジによる過熱 (非火災)	居住者がリビングにいたところ、煙が漂い住宅用火災警報器が発報し、自宅の固定電話で119番通報して屋外に避難した。消防隊が電子レンジ内を確認すると、焦げた唐揚げがあり、そこから煙が出ていた。電子レンジ及び室内に損害はない。
15	3	19:21	夜	戸建住宅	煙式	台所	その他（不明を含む。）	こんろ	居住者	魚焼きグリルの過熱 (非火災)	居住者が魚焼きグリルで魚を焼いていたのを忘れ、リビングでテレビを見ていたところ、住宅用火災警報器が発報し、自宅の固定電話で近隣住民に助けを求めた。駆け付けた近隣住民が住宅内に入ると白煙が充満していたため、119番通報し、居住者とともに屋外に避難した。消防隊が到着時、魚焼きグリルから煙が出ており、グリル内を見ると、炭化物質及び油脂が多数付着し、清掃した様子はない。魚焼きグリル及び室内に損害はない。
16	3	14:00	昼	戸建住宅	煙式	就寝室	階段	たばこ	居住者	ごみ袋に入れた吸い殻から出火	居住者(37歳女性)が1階居間にいたところ、住宅用火災警報器の警報音に気付き、警報音のする2階に向かったところ、2階就寝室内で炎が出ているのを発見、初期消火は困難であり避難後に119番通報した。もの。
17	3	13:16	昼	戸建住宅	熱式	台所	台所	こんろ	居住者	ガステーブルの魚焼きグリルの受け皿に溜まった油分が過熱され発火した。もの。	ピザを焼いている間、居住者は2階の自室で過ごしていた。住宅用火災警報器が鳴動したことでピザを焼いていたことを思い出し、台所に入るとガステーブルのグリル付近から火が出ているのを発見し、水道水を使用して初期消火。焼損範囲にあつては、排気口側の壁を1㎡焼損した。その後、警備会社からの依頼で訪問した町保健福祉課職員が消防に通報した。もの。
18	4	6:14	朝	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	その他	鍋の空焚き	一般住宅で居住者が鍋に火をかけたまま、その場を離れた際に煙が発生し、台所に設置した住宅用火災警報器が作動。居住者が警報音に気付き、ガスコンロの火を止めたため火災に至らなかった。なお当該住宅用火災警報器は、警備会社へ自動通報する機能を備えたものであり、同宅の火災信号を受信した警備会社から119番通報があった。もの。
19	4	3:34	早朝	戸建住宅	煙式	居間	就寝室	電気	居住者	電気製品から出火	2階就寝室で就寝していた居住者が自室に設置した住宅用火災警報器(煙式)の警報音に気が付き、目を覚ますと部屋中に煙が充満していた。1階に降りると居間にも煙が充満しており、階段下付近にある窓のカーテンが燃えていたが、身の安全を確保するため初期消火は行わず、1階和室で就寝していたもう1名の居住者を起こして避難し、119番通報した。もの。

令和4年 北海道内における住宅用火災警報器の奏功事例

※ 朝（6：00から9：59時まで）、昼（10：00から13：59まで）
 夕方（14：00から17：59まで）、夜（18：00から21：59まで）、
 深夜（22：00から1：59まで）、早朝（2：00時から5：59まで）

件数	月	発生時間	時間区分	建物種類	感知したタイプ	出火場所	設置場所 (鳴動場所)	出火原因	覚知者	原因概要	発見・通報・状況等
20	5	15:35	夕方	戸建住宅	煙式	台所	その他（不明を含む。）	こんろ	居住者	鍋の空焚き	消防署隣に住む単身高齢者の女性が、消防署に「家の中で火災警報器が鳴っているのを見に来てください。」と駆け込んできたため、そのまま住宅を見に行くと、開いていた玄関から白煙が出て、玄関に入ると焦げ臭いにおいと住宅用火災警報器の鳴動を確認。 住宅に入り台所を見るとガステーブルは火が付き、上には鍋が掛かっていた。 鍋は黒く変色し、鍋から白煙が上がっているのを確認する。ガステーブルの火を消し、台所、居間の窓を開放した。鳴動していたのは、居間北側に設置された住宅用火災警報器。 住宅用火災警報器の鳴動に気づき、消防に駆け込んだことにより火災には至らなかったもの。
21	5	12:02	昼	アパート・マンション等	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	鍋の空焚き	居住者が台所のガスコンロで鍋に火をかけたまま、その場から離れたため、内容物が焦げて煙が充満し住宅用火災警報器(煙式)が作動。警報音で空焚きに気づいた居住者が鍋をシンクに移動し水道水をかけたため火災には至らなかった。住宅用火災警報器が作動したため念のため119番通報したもの。
22	5	22:52	深夜	アパート・マンション等	煙式	居間	就寝室	ストーブ	居住者	ストーブの上に花瓶とテーブルクロス(ビニール製)を置いていた事を忘れて15分程ストーブを使用したもの。	居住者(75歳女性)がFF式ストーブの上に花瓶とテーブルクロス(ビニール製)を置いていた事を忘れ、15分程ストーブを使用し居間でテレビを見ていたところ寝室の住宅用火災警報器(煙式)が作動、本人が警報器に気づき119番通報を行った。ストーブに敷いていたテーブルクロス(ビニール製)が焦げているのを確認しストーブ周囲に焼損はなく火災の危険性がないことを確認したもの。
23	5	12:11	昼	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	鍋の水を温めようとしてガスコンロに火をつけその場を離れた。	家人が以前焦がした鍋を清掃するため、水を入れガスコンロで加熱していたが、その場を離れてしまった。屋外にいたところ、煙感知器の警報音で気づき、屋内に入ると煙が充満していた。火を消す為ガスコンロに行き火は消えていて鍋から煙が出ている状態であった。鍋を台所に移動させ、水を入れた後に窓を開けて換気後に消防へ通報する。ガスコンロには、温度センサーがついており、自動消火されていて火災には至らなかったもの。
24	6	22:20	深夜	アパート・マンション等	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	ガステーブルの消し忘れ	居住者（79歳女性）が、共同住宅1階台所に設置しているガステーブルのグリルで魚を焼いていたのを忘れ、就寝したところ、魚が焦げ発煙。台所に設置されていた住宅用火災警報器（煙式）が作動したことで、警報音に気づき、火災に至らなかったもの。
25	7	7:46	朝	アパート・マンション等	煙式	台所	その他（不明を含む。）	こんろ	緊急通報システム	フライパンに火をかけたまま煙で作業していると、居間に設置している緊急通報システム連動の住宅用火災警報器の鳴動により、台所のフライパンから煙が出て充満しているのを発見、すぐにこんろの火を消し窓を開けて換気。焦げたフライパンをシンクへ移動し水道水をかけたため火災には至らなかった。	
26	7	2:30	早朝	アパート・マンション等	煙式	居間	就寝室	調査中	居住者	調査中	2階建て共同住宅の2階居間のコンセントを使用して、充電式ヘッドライトを充電して就寝していたところ出火した。家人が寝室に設置されていた住宅用火災警報器の鳴動音に気づき、濡れ布巾を被せて消火したものの。
27	7	17:18	夕方	戸建住宅	煙式	就寝室	就寝室	たばこ	居住者	たばこの不始末	防火造2階建て一般住宅から出火した。出火箇所は「2階寝室」で、出火原因は居住者が就寝する前に喫煙し、その際たばこの火を消した記憶が無いと供述しており、他に火源となるものがないことから、たばこの不始末により火種が寝具上に落下し、時間経過とともに無炎燃焼から有炎燃焼へと移行し、火災化したもの。
28	7	13:26	昼	アパート・マンション等	煙式	台所	その他（不明を含む。）	こんろ	隣人	魚焼きグリルの過熱（非火災）	居住者が魚焼きグリルで魚を焼いていたのを忘れ外出したところ、内容物が焦げて煙が室内に充満し、住宅用火災警報器(煙式)が作動。隣人が警報音に気づき屋外へ出ると、該当居室の開放中の窓から白煙が出ているのを確認したため消防へ通報した。消防隊到着後、魚焼きグリルの火を消したため火災に至らなかった。魚焼きグリル及び建物への損害なし。
29	7	8:18	朝	アパート・マンション等	煙式	台所	その他（不明を含む。）	こんろ	緊急通報システム	鍋に火をかけたままトイレへ行っている間に、居間に設置している緊急通報システム連動の住宅用火災警報器が発報した。すぐにこんろの火を消し窓を開けて換気。焦げた鍋をシンクへ移動し水道水をかけたため火災には至らなかった。	

令和4年 北海道内における住宅用火災警報器の奏功事例

※ 朝（6：00から9：59時まで）、昼（10：00から13：59まで）
 夕方（14：00から17：59まで）、夜（18：00から21：59まで）、
 深夜（22：00から1：59まで）、早朝（2：00時から5：59まで）

件数	月	発生時間	時間区分	建物種類	感知したタイプ	出火場所	設置場所 (鳴動場所)	出火原因	覚知者	原因概要	発見・通報・状況等
30	7	0:29	深夜	戸建住宅	煙式	台所	就寢室	こんろ	居住者	やかんの空焚き	19時頃にインスタントのお汁を飲もうとし、やかんでお湯を沸かそうと電熱器にかけたが睡眠導入剤入りの痛み止めを服用していたため茶の間で寝てしまったもの。住警器の鳴動により目を覚まし、室内に煙が充満していたため119通報し、電熱器の電源遮断後に屋外へ避難したもの。なお、やかんの溶融のみで火災には至らなかった。
31	3	22:05	深夜	戸建住宅	不明	その他（不明・調査中を含む。）	就寢室	電気	居住者	外壁外灯付近の漏電	発見者は火元居住者で、通報者は帰宅途中で警報音のような音が聞こえたため上を見ると、出火建物2階のベランダに女性が立っており、室内から白い煙が見えたので火災だと思い、ベランダに立っていた女性から119番通報していない旨を聴いたことから、所持していた携帯電話で119番通報したもの。
32	3	10:27	昼	戸建住宅	不明	就寢室	就寢室	電気	居住者	電気配線の短絡による過熱発火	発見及び通報者は居住者であり、1階の居間にいたところ、2階からの住宅用火災警報器の警報音に気づき、2階洋室のドアを開けたところ室内が燃えているのを発見したため、屋外へ避難後、所持していた携帯電話で110番通報したものである。
33	4	8:25	朝	その他	煙式	階段	その他（不明を含む。）	放火(疑い含む。)	居住者	何者かが何らかの火源を用いて段ボールに火を放ったもの。	2階で洗濯物を取り込んでいたところ、煙の臭いを感じ、住宅用火災警報器が鳴っていることを確認したため、階段を降りたところ、1階階段に置かれた段ボール付近から火が上がっているのを発見し、その後、1階和室のポータブル灯油ストーブ上に置いていたやかんの水で消火し、所持していた携帯電話で119番通報した。
34	4	12:00	昼	その他	不明	居間	その他（不明を含む。）	ストーブ	通行人	布団を乾かすためにストーブに布団を被せた	火災現場付近を歩いていた通行人が焦げ臭いがしたため、臭いのする方向を見てみると建物の換気口から煙が出ているのを発見したため通報した。 その後、同通行人が建物のチャイムをならしたところ、隣の住宅から建物関係者が出てきたため、火事であることを伝えた。 建物関係者は建物内に入ると、2階から住警器が発報している音が聞こえた。
35	5	22:34	深夜	アパート・マンション等	煙式	台所	その他（不明を含む。）	こんろ	隣人	ガスコンロの消し忘れ（非火災）	居住者が21時頃に台所でフライパンをコンロの火にかけたまま、居間で寝てしまったため、内容物が焦げて煙が部屋に充満し、住宅用火災警報器が発報。現場到着した消防隊員が建物内に入ると、隣人と接触し、住宅用火災警報器の鳴動及び薄煙を確認した。目が覚めた居住者がガスコンロの火を止め、炭化し発煙していた内容物に水道水をかけて冷却し、火災には至らなかった。同アパートの隣人が住宅用火災警報器の電子音に気づき、消防に通報した。
36	6	17:31	夕方	アパート・マンション等	熱式	台所	台所	こんろ	居住者	コンロ上天ぷら鍋内のサラダ油の過熱発火	発見及び初期消火者は出火室居住者で、天ぷら鍋にサラダ油を入れ加熱したまま寝てしまい、住宅用火災警報器の音で目を覚ましたところ、天ぷら鍋から火が上がっているのを発見したため、天ぷら鍋を床に置き周囲にあったキッチンマットを天ぷら鍋にかぶせ初期消火を行ったものである。通報者は、建物管理会社の社員で、発見及び初期消火者から消火後に電話で状況を聞かされた後、通報を依頼され所持している会社の携帯電話で119番通報したものである。
37	7	2:15	早朝	アパート・マンション等	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	ラジエントヒーターの上にタオルを置いたまま就寝したことでタオルが発火し、火災化	発見、通報及び初期消火者は、自宅で就寝していたところ、住宅用火災警報器が発報し警報音で目を覚ましたもので、焦げ臭い臭気がしたので台所を確認に行くと、ラジエントヒーター上のタオルから火が約5cm上がっているのを発見した。その後、所持していた携帯電話で119番通報し、手で水道水の水を汲み、水をかけて消火した。
38	8	19:30	夜	その他	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	てんぷら油の過熱発火	居住者が住宅用火災警報器の鳴動により、1階台所に設置されている液化石油ガステーブル上の両手鍋から煙が上がっているのを発見し、すぐに液化石油ガステーブルの火を消したが、両手鍋から火が30cmくらい立ち上がったため、近くに置いてあった消火器で初期消火を行った。通報者は同居していた家族が携帯電話で119番通報し、屋外へ避難した。
39	9	9:40	朝	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	その他	鍋の空焚き(非火災)	居住者が、台所で鍋に火をかけていたのを忘れ、その場を離れた際に焦げて発煙し、台所に設置した住宅用火災警報器（煙式）が作動して、火災信号を受信した警備会社から、119番通報に至ったもの。 なお、居住者が焦げ臭さを感じ、鍋の存在を思い出して火を消したことから、火災に至らなかった事例である。

令和4年 北海道内における住宅用火災警報器の奏功事例

※ 朝（6：00から9：59時まで）、昼（10：00から13：59まで）
 夕方（14：00から17：59まで）、夜（18：00から21：59まで）、
 深夜（22：00から1：59まで）、早朝（2：00時から5：59まで）

件数	月	発生時間	時間区分※	建物種類	感知したタイプ	出火場所	設置場所（鳴動場所）	出火原因	覚知者	原因概要	発見・通報・状況等
40	10	13:25	昼	アパート・マンション等	煙式	その他（不明・調査中を含む。）	その他（不明を含む。）	その他	居住者	転倒したローソクにより可燃物が着火	発見及び初期消火者は、自宅の自室で仕事をしていたところ、住宅用火災警報器が発報し、和室にある祭壇が燃えているのを発見したため、濡らしたバスタオルをかぶせて消火をしたもの。通報者は、職場で仕事をしていたところ、発見及び初期消火者から火災があった旨の電話連絡を受けて119番通報したものである。
41	10	15:00	夕方	戸建住宅	煙式	台所	台所	その他	居住者	電子レンジによる過熱（非火災）	栗饅頭を電子レンジで加熱中に煙が発生し、台所にある住警器が作動した。煙発生源の特定ができず、隣人の協力のもと消防へ通報。駆けつけた消防職員により、電子レンジ内の炭化した饅頭が発見された。なお、発煙したのみで火災には至らなかった。
42	11	13:55	昼	アパート・マンション等	煙式	就寝室	就寝室	たばこ	居住者	たばこの不始末	居住者（小学生）が保護者不在中、住宅用火災警報器の鳴動に気づき、就寝室を確認したところ、白煙が充満していたため屋外の通行人に助けを求め119番通報。到着した消防隊が就寝室の灰皿内のたばこの吸いが燃えていることを確認し処理したものの。
43	11	23:39	深夜	アパート・マンション等	煙式	台所	就寝室	こんろ	居住者	魚焼きのグリルの過熱（非火災）	居住者が夕食準備の際に、魚焼きグリルのスイッチを誤って押したことにより空焚き状態となり、住宅用火災警報器が発報。室内に煙が充満していたがどこから発生しているのかわからず、消防へ通報した。魚焼きグリル及び室内に損害はなし。
44	11	7:11	朝	アパート・マンション等	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	ガスコンロ魚焼きグリルの空焚き	居住者（51歳女性）が、台所のガスコンロ（五徳）に鍋をかけた温めるつもりで、誤って魚焼きグリルを点火したまま気づかず台所を離れ、洋室にいたところ、魚焼きグリルから煙が発生し、台所に設置した住宅用火災警報器（煙式）が作動。本人がその警報音に気づき、魚焼きグリルに水をかけ消火したことから、火災に至らなかった事例である。
45	11	11:10	昼	アパート・マンション等	煙式	居間	その他（不明を含む。）	その他	居住者	ローソクの炎が可燃物に接触。	居住者の親族が訪問し、居間にある仏壇のローソクに火を点けた後、居間でテレビを見ていた。住宅用火災警報器の音がしたため仏壇を見ると、ローソク横の造花が燃えているのを発見し、ペットボトルの水で消火した。焼損は造花と仏壇のみ。
46	12	12:47	昼	戸建住宅	煙式	就寝室	就寝室	電気	居住者	長年使用していた電気敷毛布の電源コードが、踏みつけあるいは引っ張り等の外力によって芯線が断線して短絡し、近接していたソファカーパー等に着火して燃え広がったもの。	居住者の孫が台所に居た際、寝室から住宅用火災警報器の警報音が鳴り、部屋の窓付きの引戸から火が見えたため居間にいた居住者へ知らせ、居住者が戸を開けるとソファ付近から火が出ているのを発見する。通報は、居住者の娘が携帯電話で119番通報し警察から入電する。初期消火にあつては、台所のフライパンで数回水をかけて消火する。
47	12	4:15	早朝	アパート・マンション等	煙式	就寝室	就寝室	ストーブ	居住者	掛け布団が電気ストーブに落下し、接触したことで出火した。	居住者（23歳女性）が就寝中、住警器の音声で目が覚め、掛け布団が電気ストーブに触れており、煙が発生しているのを確認する。ペットボトルの水をかけた後、煙が充満していた為、窓を開け外に避難し親に連絡後、消防へ通報した。
48	12	18:00	夜	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	魚焼きグリルの過熱（非火災）	通報者から状況聴取したところ、2階の部屋にいたところ住宅用火災警報器が鳴動したため1階に行くとき誰もいなく台所の魚焼きグリルから火が上がっていたため消防に通報した。消防隊到着後に焦げの臭気を確認するも火災等は確認出来ず、通報者がガスの元栓を閉め濡らしたタオルを数枚火に掛け消火できたこと。放射温度計で検索するが熱源は認められなかったため、小窓を開け換気を実施した。

令和4年 北海道内における住宅用火災警報器の奏功事例

※ 朝（6：00から9：59時まで）、昼（10：00から13：59まで）
 夕方（14：00から17：59まで）、夜（18：00から21：59まで）、
 深夜（22：00から1：59まで）、早朝（2：00時から5：59まで）

件数	月	発生時間	時間区分※	建物種類	感知したタイプ	出火場所	設置場所 (鳴動場所)	出火原因	覚知者	原因概要	発見・通報・状況等
49	11	20:48	夜	戸建住宅	熱式	居間	その他（不明を含む。）	ストーブ	居住者	ストーブの周囲の物に着火	一般住宅の2階で就寝中、警報音に気が付き鳴動している1階の居室に向くとストーブ付近から火が出ているのを発見した。初期消火を試み119番通報後に避難した。
50	12	13:53	昼	戸建住宅	煙式	その他（不明・調査中を含む。）	その他（不明を含む。）	その他	居住者	線香の火種が繊維製品に着火	発見、通報、初期消火者は、居住者。掃宅したところ、住宅用火災警報器の警報音となり、室内に煙が漂っていたため、和室を見に行くと、座布団がくすぶっているのを確認したため、座布団を洗面台に移動し、水道水により水没させ、119番通報したものを。